

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業  
次世代研究者育成プログラム  
(実施期間：平成 26～令和 3 年度)

コンソーシアム名：ナノテクキャリアアップアライアンス  
Nanotech Career-up Alliance (Nanotech CUPAL)

代表機関：産業技術総合研究所（総括責任者：石村 和彦）

共同実施機関：物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、筑波大学、京都大学、  
北海道大学、東京大学、東京工業大学、東京理科大学、早稲田大学、  
京都工芸繊維大学、大阪大学、神戸大学、立命館大学、同志社大学

取組の概要

我が国のナノテク研究人材のキャリアアップと流動性向上を図るため、TIA（旧：つくばイノベーションアリーナ・ナノテクノロジー拠点（TIA-nano））を中心に活用し、①新たな知の創成を牽引するプロフェッショナル（Nanotech Research Professional）及び ②イノベーション創出に資する、ものづくりを担うプロフェッショナル（Nanotech Innovation Professional）を育成する。

中核的機能を果たすTIA は、世界最先端のナノテク研究施設と産学官の多彩な研究人材が集積し、「技術・知・人」の新たな結合と潮流を生み出す「共鳴場」を形成しており、育成される人材は、「共鳴場」における産学官研究者との交流や多様な装置群の活用等を通じ、新たな研究領域の開拓、民間企業研究職に求められる素養の習得等により、他の研究機関や大学、民間企業にキャリアアップしていくことが期待される。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況 (全般)	進捗状況 (システム構築)	進捗状況 (取組の内容)	体制構築	今後の進め方
B	b	b	b	b	c

総合評価：B（所期の計画以下の取組であるが、一部で所期計画と同等又はそれ以上の取組もみられる）

(2) 評価コメント

人的・物的多様性を生み出す「共鳴場」における人材育成システムの構築を目指した取組が行われた。35名の次世代研究者の育成が行われ、21名がキャリアアップしたことは評価できる。しかし、機関への研究者派遣が共同研究に終わっているケースが見られ、人材育成の達成に関しては課題が残る。実施機関が15機関と非常に多数ではあったが、事業への積極的な参画が一部の機関では認められず、国際公募を含む公正な審査、適切な業績評価の仕組みの構築の観点からも、本プログラムの趣旨に沿ったコンソーシアムの形成は十分とは言えず、その波及効果も限定的であった。

・進捗状況（全般）：所期目標を上回る35名の次世代研究者をNanotech Research Professionalとして育成を行い、そのうち21名が、海外研究機関、民間企業機関を含む新たなポストへキャリアアップしたことは評価できる。しかし、イノベーション創出人材（Nanotech Innovation

Professional) については、目標は達成できておらず、中間評価時に指摘された研修プログラムのコースごとの分析と改善についても十分とは言えず、育成後の具体的な成果の検証まで至らなかった。

・**進捗状況（システム構築）**：人的・物的多様性を生み出す「共鳴場」における人材育成システムは次世代研究者たちに有効に活用され、研究者同士や企業との様々な交流の場が設けられたことは研究者間の新たなネットワークの構築、キャリアアップを図るための仕組みとして評価できる。しかしながら、中間評価で指摘された次世代研究者に対するキャリア形成教育や、評価結果を処遇へ反映させるシステムの構築については十分な成果を得たとは認められない。

・**進捗状況（取組の内容）**：目標を上回る 35 名の次世代研究者を育成したことは評価できる。イノベーション創出人材は、参加者を増やすための試みが行われ一定の効果があったものの、そのプログラムによってどのような人材育成の成果があったのかが、明確に示されなかった。中間評価で指摘された、国際公募も含めた広く公平性が保たれた公募実施についても改善は不十分であった。

・**体制構築**：コンソーシアム内に、運営協議会、運営委員会、運営・評価委員会が設置され、運営管理が行われたことは評価できる。外部有識者からなる諮問委員会が設置され、産学官多角的な視点からの問題点の指摘、アドバイスが行われたことも評価できる。しかしながら、そのアドバイスを十分にコンソーシアムの運営に反映させたとは言えず、共同実施機関の参画も不十分なままであり、コンソーシアムとしての機能を発揮できなかった。

・**今後の進め方**：今後の実施体制、資金計画ともに具体的な計画が示されておらず、事業の発展や継続を現状では期待できない。これまでの取組の成果・課題の分析を行い、具体的な計画立案と実行が、早急に行われることが望まれる。